

令和6年度島根県立大学人間文化学部
学校推薦型選抜 社会人・学士 帰国生 私費外国人留学生特別選抜
保育教育学科 小論文問題 出題意図

2023年12月実施

出題の意図

本問題は、NHK ラジオセンター「夏休み子ども科学電話相談」制作班著『大人もおどろく「夏休み子ども科学電話相談」』（2018年、SBクリエイティブ株式会社）の一部より採用した（一部改変）。

本書は、1984年から毎年度夏休みの時期にNHKラジオ第1で放送されている過去の番組の内容を抜粋・編集したものである。同番組では、科学などに関連が深い分野について疑問に思っている小・中学生と電話をつなぎ、各界の専門家によって放送中に質問に答えていくというスタイルで行われている。本題では、「好きなのに嫌いと言ってしまうのはどうして？」という小学2年生の質問へのやり取りについて、子どものころが揺れ動く時期ならではの大人でさえ難しいと感じる質問に対して、どのように分かりやすく説明するのかが描写されている。保育者・教育者を指すものとして、子どもの理解度や発達段階を考慮し、子どもの物事への興味・関心、疑問に対応する力について受験生に問いたい。

この出題を通じて専門的な視点で内容を読み取り、本題が伝えたい論点を整理して要約する力（読解力、分析力）、また自身の知識や経験に基づき、自分の考えを分かりやすく表現する力（論理的思考力、表現力）、最後に保育者・教育者になる上での態度・姿勢に関する捉え方（保育者・教育者としての価値観、資質）といった観点から、受験生が保育教育学科を志望する者としてアドミッションポリシーである思考力・表現力・態度を有しているかを評価する。

採点観点

- 1) 問題文を的確に読み取って要約し、自分の視点による考察を知識や経験に基づいて提示しているか（設問との対応、視点、自分の考え）
- 2) 結論とその論拠を、論理的かつ説得力をもって展開しているか（論理化、展開、結論付け）
- 3) 正しく適切な語彙・表記により、分かりやすい表現ができているか（語彙力、表現力）